

令和7年9月3日

各関係機関の長 殿

国立大学法人東北大学
大学院国際文化研究科長 劉 庭秀
(公印省略)

教員の公募について（依頼）

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本研究科では、国際文化研究専攻**日本宗教・思想史研究講座**の教員を下記により公募することになりました。

つきましては、ご多用中のところ誠に恐縮ですが、貴職関係方面へ周知方よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

記

1. 職種・人員 准教授 1名
2. 専門分野 近現代日本宗教研究
3. 担当科目 大学院授業科目
全学教育科目

4. 応募資格

- (1) 本研究科において、教育・研究に従事する資格があると認められる者で、博士の学位を持ち、大学における准教授や講師（あるいは日本国外の大学の場合、それに相当する職位）としての教育経験年数3年以上であることを要し、大学院教育に携わった経験を有することも望ましい。ただし、他の条件において特に優れている場合にあっては、上記の年数を短縮することができる。
- (2) 専門分野は近現代日本の宗教とし、本講座に所属する教員の歴史的方法を十分に理解した上で、それとは異なる視座を提供できる者（とくにフィールドワークに基づく研究とその指導が可能であることが求められる）。日本宗教研究の分野において、定評ある国際ジャーナル（Q1、CiteScore 上位 10%など）に学術論文を掲載した実績があり、かつ学術出版会等から1冊以上の単著を刊行していること。
- (3) 日本国内の大学における教務・入試等の業務内容を十分に理解しており、本研究科の教員としてそれらを的確に遂行でき、講座関連の地域文化研究系の系共通科目、大学院授業科目、および全学教育科目を担当できること。また、本学が推進する「日本学国際共同大学院」プログラムや他の国際交流事業への積極的な関与が期待されるため、「日本学」というフィールドの在り方を理解し、それに関わる実績を有することが望ましい。
- (4) 国籍は問わないが、日本語および英語において、学生指導を含む上記の業務を遂行できる十分な言語能力を有すること。

5. 雇用形態

- (1) 本人事によって採用された者には裁量労働制を適用する。
- (2) 原則として本研究科が定めるテニュアトラック制度を適用する。
 - ・テニュアトラック教員の任期は4年とし、テニュア付与に係る審査は、任期満了の2年前までに実施する。
 - ・特に優れていると認められる場合は、テニュアトラック制によらず任期の定めのない採用とすることもある。
 - ・その他、詳細については総務企画係へお問い合わせください。

6. 採用予定日 2026年4月1日

7. 提出書類

(1) 履歴書 1 部 (本学所定の様式、写真添付)

様式は研究科 HP の「教員募集」ページからダウンロードしてください。

<https://www.intcul.tohoku.ac.jp/faculty-recruitment/>

- (2) 研究業績一覧表は、以下の区分に分けて記載すること：著書、編著、共著、論文、研究ノート、書評、学会予稿集掲載論文、博士論文、その他。各業績については、査読の有無を明記すること。また、当該論文または業績が優れたものであることを示す数値指標（被引用数、ジャーナルのインパクトファクター、FWCI [Field-Weighted Citation Impact]）などがあれば、適宜明記すること。
- (3) 研究業績のうち、刊行されたものすべて（抜刷り、コピーでも可）。そのうちの主要な業績 5 点については、研究業績一覧表に○印を付すとともに、要約（それぞれ、日本語の場合は 400 字程度、英語は 200 語程度）を付すこと。
- (4) 次の 2 点について、それぞれ A4 版 1 枚程度にまとめた文書（英語あるいは日本語）。
 - a) これまで行ってきた研究の概要と学術的意義及び今後の計画など。
 - b) これまで従事してきた教育活動について、授業内容や学位論文の指導内容及び教育プログラムやカリキュラムの運営に関わる経験など。
- (5) 外部資金獲得状況（最近 5 年間）
- (6) 照会可能な方 2 名の氏名・所属・連絡先

※ 必要に応じて、ほかに資料の提出を求めることがある。

8. 応募締切 2025 年 9 月 30 日（火）（必着）

- 9. 選考方法 書類選考後、面接（模擬授業を含む）を実施する。面接に要する交通費は支給しない。なお、感染症等の状況によっては、面接はオンライン方式で行う可能性がある。

10. 書類提出先 〒980-8576 仙台市青葉区川内 41

東北大学大学院国際文化研究科長 宛

※ 封筒に「応募書類（日本宗教・思想史研究講座）在中」と朱書き、書留郵便で送付すること。

※ 応募書類は原則として返却しない。

11. 問合せ先 東北大学大学院国際文化研究科総務係

電話 022 (795) 7541

FAX 022 (795) 7583

電子メール int-som@grp.tohoku.ac.jp

東北大学大学院 国際文化研究科については、下記のウェブページをご参照ください。

<http://www.intcul.tohoku.ac.jp/>

12. その他

- ・ 東北大学は多様性、公正性、包摂性（Diversity, Equity & Inclusion : DEI）を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>

- ・ 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第 8 条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要とされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- ・ 学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学—みんなが主役—多様な性に関するガイドライン」を制定しています。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_minority/

- ・ 東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員 22 名）及び青葉山みどり保育園（定員 116 名）の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園（定員 120 名）があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。

また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

- ・ その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_family/

人事企画部 WEB ページ <https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>